

STREET MINI 2016

カッコおしゃれなMINIを探し出せ!!

2



AUSTIN MINI COOPER MK1 STYLE

'97 ローバー ミニ クーパー

ここまでやるか! 妥協なきモディファイを見よ!

photo=st.mini 編集部 streetmini text= 清原直樹 naoki kiyohara
special thanks= インベリアルクラフト大阪 tel.072-720-6780 http://www.imperials.jp

09

ツィードグレーのクラシカルなスタイル。ミニを見慣れた人でも、エンジンルームをのぞくか、または室内にあるいくつかの快適装備を見るまでは、このミニがリアルMk1だと思ってしまうのも無理はない。それだけMk1の意匠が忠実に再現されているのだ。ミニのモディファイといえば、誰しもが真っ先に思い浮かべるのがMk1仕様だろう。その多くは、Mk1の象徴的なディテールの再現に留めているのだが、このミニのオーナーであるMさんが目指したのはMk1ディテールの完全なる復元。

一般的にいうと、コストや手間の関係上モディファイが困難なのが、スライドドア、ドアポケット、そしてドアの角丸なのだが、このミニはそれらを丁寧な板金作業でキッチリと再現している。さらにドアハンドルもMk1と同形状で、ヒンジもダミーではない。そして、時代的整合性を考慮して選ばれたパーツの数々。

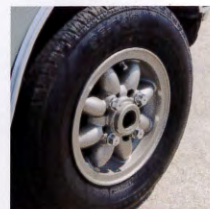
ここまでやるならば、最初から本物のMk1で良いのでは? という声もあるだろうが、オーナーのMさんはスタイルにも日常の使い勝手にも妥協はしない主義。信頼性と快適性が高い1300ccインジェクションでやることに意味があるのだ。



01. ルーフの水抜き穴もMk1を忠実に再現。02. スモールテールランプ、ライセンスプレートはNk1の象徴的なディテールなのだ。ランプは色合いにこだわって当時モノが装着されている。03. ATシフトボックスは高級感溢れる真鍮製の扇形タイプに交換されている。04. メーターはオーバル型センターメーターとタコメーターのシンプルな配置。



エンジンは1300ccインジェクション。純正のブレーキユニットから国産ブレーキサーボに交換。10インチ化でブレーキの効きに不満がある人には絶対オススメだ。



当時の限定カラー、グラナイトグリーンの希少なWORK製CR HO100。サイズは4.5Jでオフセットは34。



板金作業が必要になるドアの角丸も、なかなか手が出しにくいモディファイなのだ。アウターヒンジも本物だ。



スライドドア、大き目のドアポケットも完璧に再現。Mk1仕様は数あれど、ここまで作り込んでいるクルマは珍しい。

Owner:
Mさん

根っからのクルマ好きで、高級外車を複数所有するMさんだが、いまはこのミニがもっとも使用頻度が高いのだとか。Mさんいわく「ほかのクルマには似たような代わりがあるが、ミニに代わるクルマはない」とのことだ。



センターキーの下には、インベリアルクラフトオリジナルのエアコンを装着。細かな温度設定が出来るスケレモだ。

